

印西自転車散歩マップ

伝承と花の里ルート

(新川・松崎・結縁寺)

- 凡例**
- 基本ルート
 - 坂道
 - 走行注意箇所
 - オプションルート
 - 主要道路
 - 北総鉄道 成田スカイアクセス
 - 河川
 - チェックポイント
 - 印西大師札所番号
 - トイレ
 - コンビニストア
 - 公園
 - 水田
 - 調整池
 - 信号



神崎川西岸からの展望



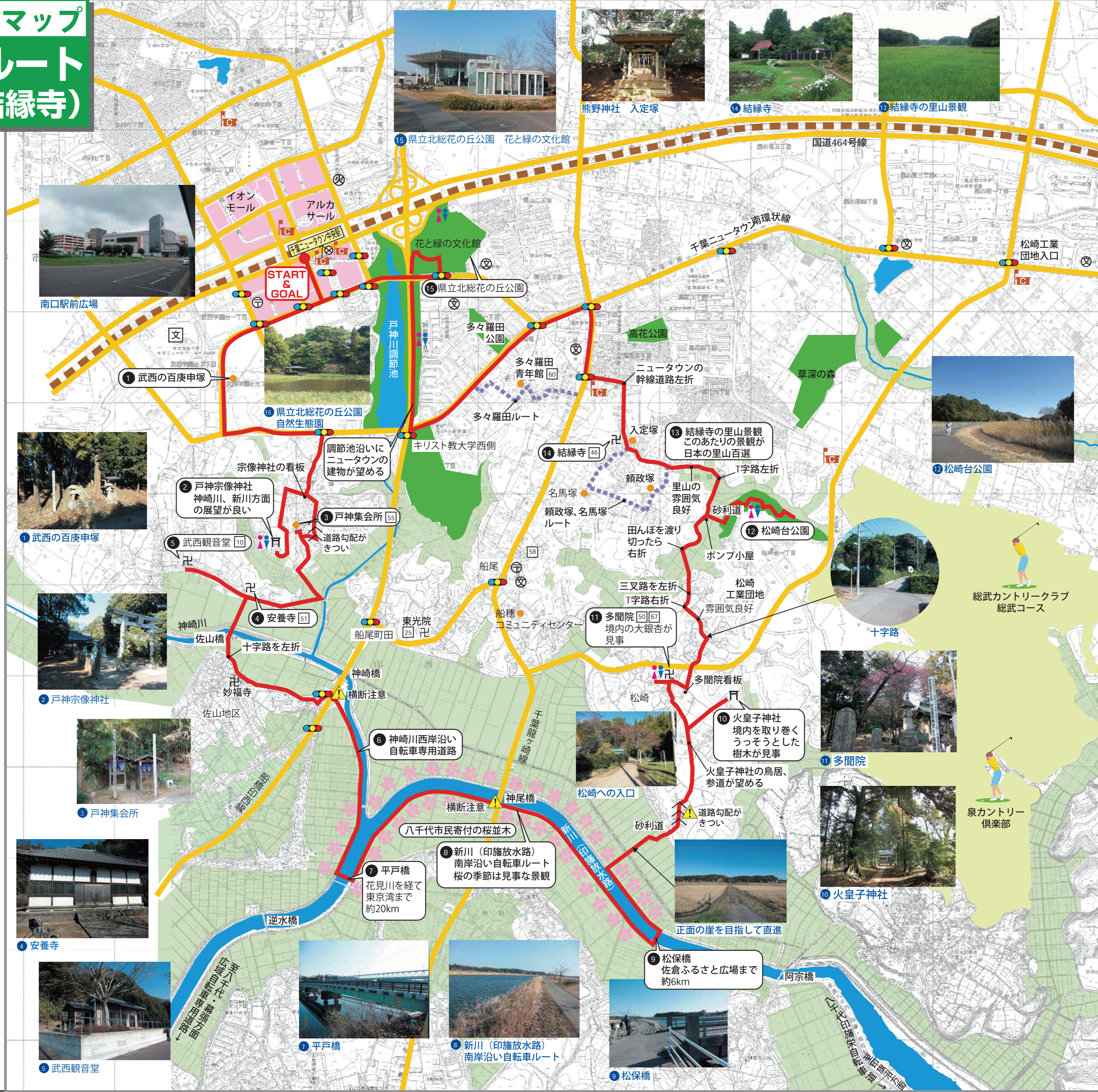
多聞院



結縁寺

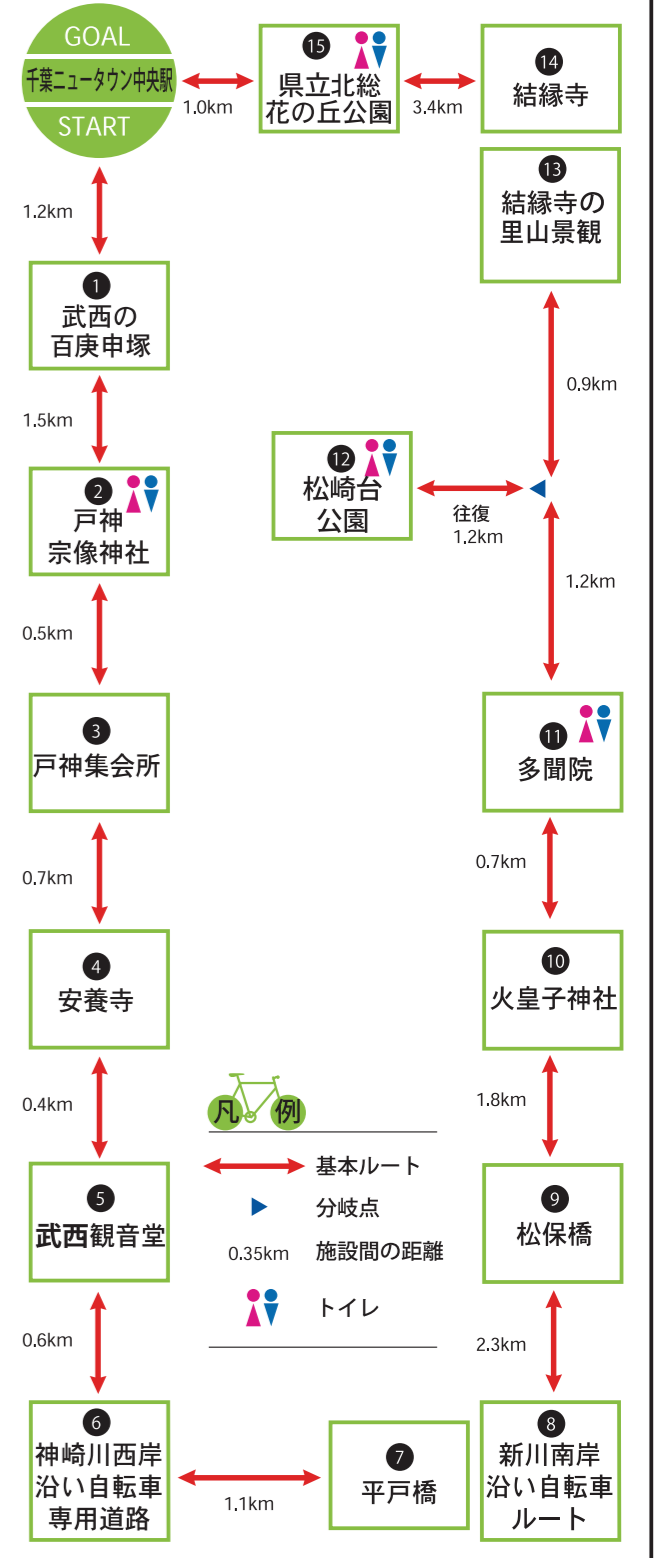


県立北総花の丘公園



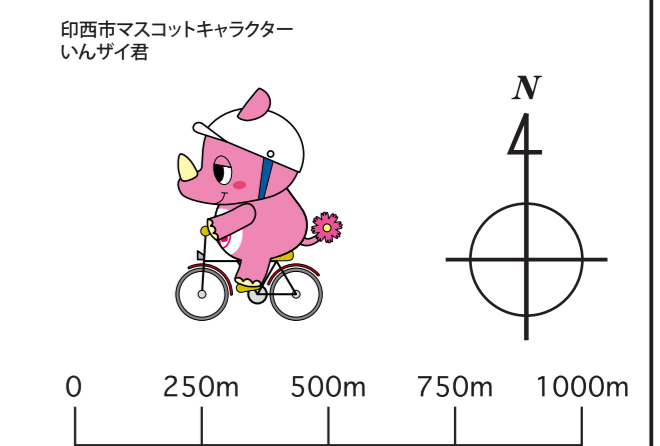
本ルートは、千葉ニュータウン中央駅南側から新川、松崎地区の伝承や花で有名な神社仏閣を訪ねるルートです。行程はほぼ平坦で楽なコースです。

基本ルート 約19kmのコース
 走行のみで約2時間、神社仏閣をゆっくり見て回ると4、5時間かかります。



オプションルート

- 多々羅田ルート**
結縁寺から千葉龍ヶ崎線に出て多々羅田地区を巡る約0.8kmのルートで、県立北総花の丘公園へのショートカットルートにもなります。途中、多々羅田青年館の脇に印西大師60番札所の祠があります。
- 頼政塚、名馬塚ルート**
結縁寺から源頼政所縁の地を巡る約1.2kmのルートです。なお、この付近には東光院(印西大師25番札所)があります。



※このマップは印西市の許可を得て印西市都市計画図を基に制作されています。
 ※地図上の情報は平成29年9月末時点を基準としております。

印西自転車散歩マップ



伝承と花の里ルート (新川・松崎・結縁寺)



印西いーまち会・印西市
平成25年3月

ルートの特徴

本ルートは、千葉ニュータウン中央駅南側から新川、松崎地区の伝承や花で有名な神社仏閣等を訪ねるルートです。

総距離は約19km、純走行時間は約2時間ですが、神社仏閣をゆっくり観て回ると4.5時間かかります。

ルートはほぼ平坦で、ニュータウンを出入りする際に、高低差15mの坂があります。

このルート内で特に有名なのは、結縁寺の里山景観で、日本の里山百選に選ばれたこともあります。秋の彼岸花の頃には大勢の人が来訪します。

また、このコースの新川（印旛放水路）南岸沿い自転車ルートは、南側は花見川広域自転車ルートを通り募張方面まで、東側は印旛放水路を経て、印旛沼、佐倉方面への広域自転車ルート等と接続しています。健脚の方はそちらもオススメです。両岸には桜やカンナが植えられ、釣り人やジョギング、サイクリングをする人が多く見られます。



基本ルート&見所

スタート地点 千葉ニュータウン中央駅

本ルートは千葉ニュータウン中央駅南口からスタートとなります。

この南口は、印西市立中央駅前地域交流館、県立北総花の丘公園、大学（東京電機大学、東京基督教大学）等への玄関口ともなっています。



① 武西の百庚申塚

スタート地点千葉ニュータウン中央駅南口より1.2kmです。駅から南西方向に、東京電機大学キャンパスを目指し、正門を南に行った通用門前を通り過ぎ、道路沿いの東側ガードレールの柵にそって進んでいくと、旧道沿いに百庚申塚があります。

武西の百庚申塚は、江戸時代初期からの庚申信仰に基づくもので、市内に残されている中で最も大規模なもののひとつです。

文久3年（1863）の造立で、刻像塔10基、文字塔90基の庚申塔が道沿いに一列に立ち並んでいるのは壮観です。



② 戸神宗像神社

武西の百庚申塚より南へ1.5kmです。南側の4車線道路の信号交差点を右折（南下）して戸神地区に入ります。墓地を通過すると突き当たりに戸神宗像神社の看板が見え、右折して道なりに進むと、戸神宗像神社があります。

当神社は、印旛沼、手賀沼沿いに建てられている13箇所の宗像神社のひとつで、9世紀後半の創建と伝えられています。神社奥には、樹齢120年の椎の「根性のある木」があります。

丘の上にあり、南側は神崎川、新川方面の田んぼが開け、眺望の素晴らしい所です。



③ 戸神集会所

戸神宗像神社より0.5kmです。

一旦、先の宗像神社看板まで戻り、坂道の途中を右に入り、道なりに進むと、左側やや小だかい所に戸神集会所があり、その脇に印西大師55番札所があります。印西大師の札所は小さな祠の中に弘法大師の石像が鎮座し、四国の同一札所の説明がかかっていることが多くあります。



④ 安養寺

戸神集会所より0.7kmです。戸神集会所に来た道を戻り、地区内を南におりて行くと、戸神地区はすれの道路に出るので、この道を西側に進みます。一部歩道がない道路で、車に注意する必要がありますが、しばらく行くと道路沿い北側に安養寺が見えます。

天台宗の寺院で、境内には、印西大師51番札所や子安観音の祠があります。



⑤ 武西観音堂

安養寺の前の道を200m程西側に行った三叉路の角に観音堂があります。脇には印西大師10番札所があり、石仏や日露戦役記念碑が立っています。



⑥ 神崎川西岸沿い自転車専用道路

安養寺まで戻り、前の道を南側に降りていくと、佐山橋となり、神崎川を渡ります。佐山地区北側道路を東向きに走ると、16号線に至る船橋印西線に交差します。車に注意して横断すると、向こう側が新川（印旛放水路）南岸沿い自転車ルートです。釣り人やサイクリストが多く見られます。



⑦ 平戸橋

神崎川沿いを南下すると、平戸橋に出ます。行きすぎてうっかりすると国道16号線が見えるあたりまで行ってしまふこともあるので要注意！



⑧ 新川(印旛放水路)南岸沿い自転車ルート

快適な自転車専用道路です。沿道には、八千代市民の結婚記念や在住記念の桜が植樹され、桜の季節は見事な景観です。夏にはカンナも咲き、釣り人やサイクリング、散歩を楽しむ人が多くいます。



⑨ 松保橋

交通量の多い神尾橋前の道路横断に注意し、約2.3kmで松保橋に達します。

橋を渡らずに直進すれば、八千代印旛米自転車道を経て印旛沼、佐倉方面に至ります。



⑩ 火皇子(ひのおうじ)神社

松保橋を渡って、すぐの新川沿い自転車道を西に500m程行くと、北側の田んぼの中に神崎川を渡る小さな橋が見えます。この砂利道を、正面の崖地を目指してまっすぐに北上し、松崎地区に入ります。急坂を道なりに直進すると、まもなく東側方向に火皇子神社の鳥居、参道の林が見えてくるので、ここを右折します。

火皇子神社は、松崎の産土神とされ、火災防止の神様とされています。松崎地区では、十五夜の前日の9月14日に、鎮守である火皇子神社に集まります。境内を取り巻くうっそうとした樹木が見事です。



⑪ 多聞院

火皇子神社を参拝したら、もとの道に戻り、北側に道なりに行くと多聞院にぶつかります。鎌倉時代の創建といわれ、天台宗の寺院です。境内の奥にある毘沙門堂には、県指定有形文化財の木造毘沙門天及び両脇侍立像が祀られています。

この他、大銀杏が見事で、印西大師50番、67番札所があります。



⑫ 松崎台公園

多聞院前の道を、北側に少し行くと、案内看板があり、ここを左折して松崎工業団地の幹線道路を横断します。

坂道を下り、田んぼを渡った十字路を左折し、坂を上ったT字路を右折、すぐの三叉路を左に下がります。田んぼを渡ったら右折して、里山沿いの砂利道に入ります300mほど進むと小さなポンプ小屋があり、ここを右折して道なりに進むと松崎台公園です。



⑬ 結縁寺の里山景観

公園で休憩したら、もとの田んぼを横断する農道に戻り、里山沿いの道を北に向けて進みます。しばらく行くと、また結縁寺の舗装道路に出て、道なりに西に進みます。

このあたりの広々とした田んぼや里山の景観が、日本の里山百選で有名になった結縁寺の里山景観です。さらにしばらく行くと結縁寺に到着します。



⑭ 結縁寺

結縁寺は、奈良時代初期、行基によって創建されたと伝えられる真言宗豊山派の寺院です。

本堂内に国指定の重要文化財の「銅造不動明王立像」が安置されています。付近はかつて結縁寺村と呼ばれ、現在も地名として残っています。秋の彼岸花が有名で、境内に印西大師46番札所があります。

結縁寺の周囲には、平安時代末期に平家打倒の戦に破れた源頼政に関する史跡が残されています。

結縁寺の東側すぐには、源頼政の遺徳を慕って、この地を訪れた女性が入定したという入定塚が熊野神社の脇にあります。



オプションルート

頼政塚、名馬塚

結縁寺からも来た道を少し戻り東南200m程行くと、源頼政の首をうすめたといわれる頼政塚があります。その道をさらに行くと、頼政の首を運んできた馬を葬った名馬塚が、船尾ゴルフ練習場の脇にあります。ここからは元の結縁寺に戻るもよし、千葉龍ヶ崎線を北上してもよく、次の県立北総花の丘公園に向かいます。



⑮ 県立北総花の丘公園

北総花の丘公園は、千葉ニュータウン全体の中央公園と位置づけられています。

南北に細長い広大な面積（36.1ha）で、園内は5つのブロックに分かれています。花と緑の文化館、水辺、ドックランやバーベキュー場などが整備され、特に春の桜並木がきれいです。



印西自転車散歩マップ作成にあたって

印西地域は印旛沼、手賀沼が作り出した広大な低地と谷津及び台地から出来ています。

低地部と台地部の境界部分には、神社仏閣などの歴史文化遺産が形成され、印西地域特有の里山景観が広がっています。

近年は台地部を中心に千葉ニュータウンなどの新しいまちづくりも進んでおり、個性的な都市景観も加わり、都市と田園の調和した姿は東京圏でもまれに見るのどかな郊外風景を出現させています。

こうした風景から年間を通してさまざまな季節の移ろいが見られ、大きな空、やさしい風、おいしい空気も味わえます。手賀沼、印旛沼まで足を伸ばせば至極快適な自転車専用道路も利用できます。

さあ、あなたも家族や仲間と自転車散歩に出かけませんか。

- 北総線の駅から一回りするルートを設定し、ルート上の印象的なポイントを紹介しました。
- 安全にゆったり走り、途中の風景も楽しめるように、自動車交通の少ない道を選んでみました。場合によってはもっと素敵なくみちがあるかもしれません。そうしたくみちを見つけて出すのも楽しみのひとつです。
- 里山風景は長年にわたり、人の手をかけて作り上げたものです。このことを肌身に感じながら、この風景の中にあなたの身を置き、風景の一部にさせてもらうのだ、という姿勢を忘れないようにしましょう。
- ルート上に案内板などはありませんので、このマップのポイントを役立ててください。あなた自身の発見を追加し、独自のマップを作るのも一興です。

印西いーまち会・印西市
平成25年3月

ルートの留意点

必ずお読みください

ニュータウン地区内は、道路、公園などの公共施設が整備され、信号機、緑道等の安全対策があり、走行に問題はありません。ただし、一部交通量が多い道路を横断する区間では、注意が必要です。特にオプションルートの千葉龍ヶ崎線沿いは、交通量が多く、歩道も狭く、注意が必要です。

本ルートは、ほぼ平坦な道が続きますが、一部、勾配のきつい坂があります。無理をせず一度自転車から降りて進んでください。

本ルート上は、ニュータウンを外れるとコンビニ、食堂等がほとんどありません。またトイレも少ないのでご注意ください。

自転車利用のルール

自転車安全利用五則

- (1) 自転車は、車道が原則、歩道は例外
- (2) 車道は左側を通行
- (3) 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
- (4) 安全ルールを守る
 - ① 飲酒運転・二人乗り・並進の禁止
 - ② 夜間はライトを点灯
 - ③ 交差点での信号遵守と一時停止・安全確認
- (5) 子どもはヘルメットを着用